

高志台

学園だより



Vol.188

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, NAGAOKA COLLEGE
KOSHI-DAI GAKUEN DAYORI

高志台 (こうしだい)

古代、新潟県を含む日本海側の一帯は、“こしのくに” (越の国・古志の国・高志の国) と呼ばれていました。
学生に高い志をもってほしいとの願いと歴史上の地名とを関連させて学校のある台地を「高志台 (こうしだい)」と命名しました。

CONTENTS

入学おめでとう	02
新入生を迎えて	03-04
新入生学級担任からのメッセージ	05-06
新入生のための施設紹介	07
2016行事予定	08-09
学生会長・寮長から新入生へのメッセージ	10
学生会役員紹介, 学生会役員からのメッセージ	11
各クラブから一言メッセージ	12-13
特集 プレラボ制度	14-15
平成28年度第1学年入学者選抜実施報告	15
TOPICS	16



独立行政法人国立高等専門学校機構

長岡工業高等専門学校
National Institute of Technology, Nagaoka College

〒940-8532 新潟県長岡市西片貝町888 <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/>

入学おめでとう



校長 渡邊 和忠

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長岡工業高等専門学校教職員ならびに在校生を代表して心よりお祝いを申し上げます。

今年度、1年生として206名を、3年、4年への編入生として10名を、本校にお迎えしました。この中には7名の留学生も含まれています。また、専攻科には35名が進学し、総勢251名が新たに本校の一員として共に学ぶことになりました。

今日から皆さんは長岡高専の学生です。これから皆さんが長岡高専で学ぶに当たって、とても大切なことをお伝えしたいと思います。皆さんはいつから大人になるのでしょうか。社会的には20歳になれば大人として扱われます。道に外れたことをすれば責任を問われます。甘えは許されません。今年からは18歳から選挙権が与えられます。大人としての判断と責任の一部が18歳から求められるようになります。では、18歳、あるいは20歳になったら急に正しい判断や責任のある行動ができるのでしょうか。そんなことはありません。日頃から様々な知識を得て自ら考える努力をし、経験を重ねながら少しずつ身につけていかなければなりません。長岡高専では、新入生の皆さんが今日から大人への仲間入りの第一歩を踏み出したと考えています。このため、最大限、皆さんの自主性を尊重します。長岡高専には学生の行動を細かく縛る規則はありません。「あれをしろ」、「これはするな」、と細かく指示することはありません。しかし、何をやっても良いと言うわけでないことは当然です。勉強しなくて良いわけがありません。待っていれば誰かが何かをしてくれる、あるいは指示してくれると思っているは、いつまで経っても自分で正しい判断や行動ができるようにはならないでしょう。大人の年齢になっても指示待ち人間、受身の人間になってしまいます。まずは自分でしっかりと考えて行動することを心がけてください。長岡高専が皆さんの自主性を尊重するのは、皆さんに早く技術者として、また、人として何が大切な、将来のために、今、何をすべきか、自ら考え、正しい判断と行動ができる立派な人間になって欲しいからです。大人としての判断、行動ができる人間に早くなって欲しいからです。このことをしっかりと心に留めて学生生活を送ってください。

長岡高専では、皆さんが目標を達成するために何を身につけなければならないか、そして、どのようにすれば良いかを学ぶことができます。たくさん本を読み、良い友達をたくさんつくり、教職員や先輩、友人との触れ合いを通

して学び、自ら考え、時には相談するなどしながら、自分の目標を定め、自らを向上させる努力をしてください。教員や職員は皆さんをいつも見守り、間違えた判断や行動をしそうな時はすぐに助けてくれるでしょう。時に叱咤されることもあるかもしれません。勉強においても同じです。いつまでも受け身の姿勢では、ついていけなくなってしまいます。予習も復習もしないで授業に出ているようでは尚更です。一夜漬けで目の試験にパスすることよりも本当の実力をつけるように心がけてください。これまでの日本の教育は、教員が教え、学生はそれを憶えることに重点をおいた一方向の教育でした。今、そのやり方が行き詰まり、文部科学省は教育のやり方を大きく変えようとしています。その一つがアクティブラーニングです。受け身型の授業ではなく、学生が主体的に取り組んで知識や技術を身につけて行く方法です。高専は創立当初からアクティブラーニングの要素を多く取り入れてきました。学ぶべきことを知り、コツを掴んで、自ら目標に向かって努力すれば見る見る力がついていきます。早く高専での勉強の仕方や学生としての過ごし方を学んでください。わからないこと、相談したいこと、困ったことがあれば、是非、積極的に教員や職員のところに来てください。遠慮は無用です。自分にとって信頼できる教職員を見つけてください。長岡高専では、教職員と学生との間にはとても良い関係ができています。高専の教職員にとって、これから皆さんと共に喜びや苦しみを分かち合い、皆さんが技術者として、また人として立派に成長して行く姿を見ることが最大の喜びなのです。

長岡高専は通常の講義・実習・研究活動以外にも課外活動、社会奉仕、国際交流、或いは学科の枠を超えた取組みなど、皆さんの将来に役に立つ様々な機会を提供しています。是非、このような活動に積極的に加わり、新しいことに挑戦してください。新たなことを始めると最初はうまくいかないのが当たり前です。悲観する必要はありません。いっぱい挫折や失敗を経験し、克服して行きましょう。それが大人になるためのステップです。努力は必ず報われます。

皆さんの先輩は、本校のキャンパスが位置するこの地を「高い志を育む丘」と云う意味を込めて「高志台」と名付け、自ら日々の研鑽に励んできました。そして、社会で活躍し、高い評価を得てきました。新入生の皆さんは、先輩の想いを受継ぎ、これから過す長岡高専での数年間、充実した日々を過ぎて下さい。新入生の皆さんのこれからの学生生活が、本当に充実したものとなりますことを心から願っています。

新入生を迎えて



Boys, be ambitious

副校長（総務主事） 荒木 信夫

「少年よ、大志を抱け」、クラーク博士の有名な言葉ですが、あえてこの言葉を贈ります。生活を充実させるためには目標が大切ですね。目標を定めずに闇雲に努力を重ねても無駄な時間や労力を使うばかりです。それに、目標を定めなかったら日々の努力も苦痛でしかありません。

私は登山を始めました。本校の裏にある鋸山に登りはじめるとき、北アルプスの剣岳に登りはじめるときの一歩は、同じ私の一歩です。しかし、同じ一歩でも「覚悟と緊張感」はぜんぜん違います。サッカーをやっている放課後に部活で練習をはじめるとします。サッカー部のレギュラーを目指す人、高専全国大会の優勝を目指す人、将来アルビレックスの選手を目指す人では同じ内容の練習をしても何かが違うはずです。全国大会優勝を目指すチームだったら、この程度の練習で満足するか？リーグ選手を目指している人達だったら、この場面でどうプレーするか？

目標があると日々の行動が変わります。それは「覚悟と緊張感」が変わるからです。今日一日をどう過ごすかは、目標次第なのです。長い人生は一日一日の積み重ねです。目標に向かって熱く過ごす一日もダラダラと無駄に過ごす一日もまったく同じ一日です。

どんな大志を抱いても、どんなに大きな目標を定めても誰にも迷惑は掛けません。他人にとやかく言われても気にする必要なんてありません。自分の目標をしっかりと定めてから高専生活をスタートさせてください。



高専在学中に 一つ以上の挑戦を

副校長（教育改革担当） 山崎 誠

新入生みなさん、保護者の皆様、入学おめでとうございます。新入生みなさんは、本校での第一歩を期待と、もしかしてちょっと不安を持ってスタートしているかと思います。

高専教育は既に50年が経ち、この間、日本は高度経済成長から成熟社会になりました。日本の生産現場は、大量生産からより付加価値の高い製品の製造に移行しています。製品開発では、他の組織との多様な連携を通じて価値を生み出していくオープンイノベーションを担う人材が求められています。

最近進めている授業改革は、自ら能動的な学習を育むアクティブ・ラーニングの積極的導入と学科の枠を越えた学

習の機会をつくることです。いずれも自ら学ぶ姿勢が大切です。また、国際性の涵養と異文化理解も重視しています。留学生との交流や海外派遣研修への参加を通じての人間交流に積極的に参加してください。

私は、1月にマレーシアで、高専に留学する学生の予備教育センターで集中講義を担当しました。学生達は、日本の高専で学ぶことに大きな夢を持ち、輝いて学習に取り組んでいます。将来、みなさんの良き友人になることでしょう。

高専教育の魅力は、10代後半という最も多感な時期に、実験・実習を通じて思いっきりものづくりを体験しながら学ぶという点です。多くのことを在学中に挑戦してください。その体験は、一生の財産となります。



高専で道を開こう

副校長（教務主事） 青柳 成俊

入学おめでとう。科学技術の分野で社会に貢献したい、例えば日本のモノづくりで力を発揮してみたい、航空宇宙開発に携わりたい、海外技術者として活躍してみたい、研究者になりたい…等々それぞれの思いで入学を果たされたことと思います。

高専はその基礎を修練できる場と言えます。自然科学、人文学ともに正確で十分な知識を基盤として備え、工学の知と技を融合して自由に創造できる人物を育成しようとする教育機関ですので、思い切り挑戦していただきたいと思います。

一方、知と技を学ぶだけでなく、協調性をもってコミュニケーションを取りながら任務を遂行できる、心身ともに健やかで、タフで礼儀正しくあることを目指す人格形成の5年間でもあります。これからどのように過ごしていくのか、不安も少しあるかと思いますが、まずは健やかに学んで、身体も鍛えながら、10代後半を過ごすことを考えてください。

5年間に特別なことは必要なく、継続が力です。また5年という長期在籍のメリットを生かしていろいろなことに挑戦し、その後の自分の人生を豊かにする、あるいは多様な進路が選択できるように日々向上していただきたいと思っています。

ここ高志台で学ぶ環境は抜群ですが、狭い視野にならないように常に世界に目を向けることも必要です。先を焦らずに一日一日を「誠実に」行動すると、結果的に実力がついてきます。高専ならではの学生生活を楽しみながら、いろいろなことに興味をもって学び続ける気持ちでいてください。

さあ道を開いて行きましょう。

新入生を迎えて



「スタートダッシュ」を きめよう！

校長補佐（学生主事） 坂井 俊彦

“Well begun is half done.”

これは「なにごともし始めが肝心、始めがうまくいけば半分はうまくいったようなもの」という意味の諺です。元々はギリシア時代の詩人Hesiodusの言葉とのことです。日本にも「はじめ半分」という同様な諺があります。

ご入学おめでとうございます。

今日から新たな学生生活が始まります。高専での生活は、これまでとはかなり違うはずです。特に勉強は中学生の時に比べ難しくなります。1年生のスタートを順調に滑り出すことができれば、2年生以降の高専生活はスムーズに行くと言って良いでしょう。そのためにはまず、4月からの半年間が頑張りどころです。この間は授業にしっかり取り組み、自宅でも毎日学習する習慣をつけてください。

昨年度から私は学生の皆さんに、DAI語風に「C.P.M.を大切に！」と話しています。CはChallenge（挑戦）、PはPride（誇り）、Mはgood Manners（礼節）です。高専ではクラブ活動、学生会、学校行事、海外研修など、授業以外の様々な活動にも積極的に挑戦(Challenge)してください。教室の中だけでは得られない貴重な体験とともに、社会に出てからも役立つ、豊かな人間性が育まれるはずです。長岡高専は伝統ある学校です。多くの先輩方が社会で活躍しています。皆さんは長岡高専生としての誇り(Pride)と自信を持ち、相手を尊重する心と礼節(good Manners)を重んじる行動を心掛けてください。スタートで躓くと、遅れを回復するのに苦労します。うまくスタートできれば、その後は比較的楽です。勿論、始めがうまくいったからといって、その後手を抜いてはだめですよ・・・

まずは、「スタートダッシュ」をきめよう！



入学・入寮おめでとう

校長補佐（寮務主事） 中村 奨

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また学生寮へ入寮する皆さん、本校の寮生になられることを心から歓迎し、温かくお迎えします。本校の高志寮・清花寮は教育寮として位置づけられており、単に通学の利便性や経済的負担を軽減するためだけに設けられた施設ではありません。集団生活を通じて、寮生ひとりひとりが人間的に成長していく場です。寮生活はみんなと一緒に食事をするところから始まります。また、相手の身になって行動するというルールがあります。次に挨拶です。“おはようご

ざいます” からコミュニケーションが始まります。

中学校を卒業したばかりの皆さんにとって、親元から離れて集団生活をする環境は、いままでに経験したことのない環境だと思います。しかしながら、同世代の人たちと集団生活することによって、他では得られない経験を積み重ね、強い絆で結ばれた友人をつくることができます。勉強で分からないところは、先輩に聞いたり、皆で教えあったりできます。また、クラブ活動にも有利です。これらは通学生にはない寮生だけの特権であり、多くの寮生が勉強とクラブ活動を両立させています。それらはきっと、皆さんの人生を豊かにしてくれると思います。

寮生として誇りと自覚を持ち、学業にスポーツに心身の鍛錬に励んでください。



専攻科の自立を目指す！

校長補佐（専攻科長） 鈴木 秋弘

専攻科入学おめでとうございます！

長岡高専・専攻科は、昨年度「特例適用認定校」となり、その初めての修了生となる第15期生を3月に送り出しました。実は特例適用専攻科として認められた時、次のような心配をしていました。

学位認定試験（学修成果レポートおよび小論文試験）が免除になって、学生はこれまで通り研究（実験）に取り組んでくれるだろうか？

愚問でした！

1月22日開催の専攻科特別研究発表会が全ての心配事を吹き飛ばしてくれました。1年生のShort English Presentationとポスター発表は、2年生の高専における研究の集大成となる口頭発表、学会でも十分通用する内容でした。学生は、研究をやらされているのではなく、自分の意志でやっているのです。すなわち、我々教員の研究パートナーであり、掛替えのない存在なのです。

専攻科設置から15年、専攻科を取り巻く環境も様変わりしました。人も変わりました。女性も増え留学生も居ます。研究設備も大学・研究所に勝るとも劣らない装置・機器類となりました。そして、何より専攻科で学びたいという学生の数が増えました。社会の期待も大きくなりました。

そろそろ専攻科も自立の時です。そのためには、システムの変化を外に期待するのではなく、自分たち(高専スタイル)のシステムを提案し、実践・実証することが必要であり、近道だと考えます。抱える問題も山積みです。外部を含む研究資金の獲得、終わりの無い研究の高度化・進歩への対応、さらには社会の要請、グローバル化時代の「ものづくり教育」とは何なのか。難しい問題ですが、それらに対応できるのが、高専、専攻科だと考えています。答えは一つでは無いし、ある必要も無いと思います。

新入生学級担任からのメッセージ



入学おめでとう

1年1組担任 鈴木 寛

入学おめでとう。そして入学試験、お疲れ様でした。この数か月間、みなさんの最大の関心事は、目の前の入学試験、そして高専入学だったかと思います。でももう試験は終わりました。入学も果たしました。今後は、目の前の事にとらわれていた視線を、より大きいもの、より遠いものへと向けてみましょう。

私がみなさんに目を向けてもらいたいと思っているのは、歴史です。さまざまな歴史がありますが、二つだけ取り上げることになると、まず一つ目は長岡高専の歴史です。50年以上の歴史があります。教職員と学生が一緒になって、学校生活を途切れさせることなく営み続け、その歴史をつくってきました。二つ目は、もっと大きく、人類の歴史です。本校の教育理念は「人類の未来をきりひらく、感性ゆたかで実践力のある創造的技術者の育成」です。未来のことを述べていますが、みなさんには、人類の過去からの視点も持ってもらいたいと思います。

人類は誕生から数百万年の歴史、人類が生み出した文明は数千年の歴史をもっています。高専の歴史にしろ、人類の歴史にしろ、どちらも途切れることなく続いてきたからこそ、今があるのです。みなさんが日々生きていることは、それだけで、生命体としての人類の営みの継承を意味します。また、これから高専で生活することは、高専の歴史の継承であり、勉強することは、人類の知的な営みの継承、人類の知的遺産の継承、という意味をもちます。継承者としてのみなさんに期待しています。一緒に歴史をつないで行きましょう。



50年に繋ぐ5年間を

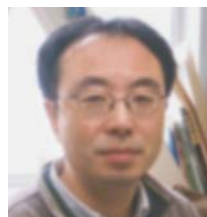
1年2組担任 田原 喜宏

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんはこれから5年間を本校で過ごすことになります。この5年間の中で多くの専門知識や技術、そして学問を学んでいくこととなります。学問というものは、その真価を発揮するまでときに長い時間を要します。

例えば伊藤清先生という数学者が戦時中の1942年に発表した論文「Markoff過程ヲ定メル微分方程式」は、今日では「確率解析」と呼ばれている理論の礎となるものでした。この論文が英訳され、世界に広まったのは1951年。

世界に発信されるまで実に9年かかったことになります。その後、確率解析の理論は発展し続け、他の分野、特に金融の世界では1990年代以降、欠く可からざる重要な理論として認識されています。そして伊藤先生はその業績を称えられ2008年には第1回ガウス賞を受賞しました。

このように新しいこと、真に重要なことはすぐに認められるわけではありません。皆さんが学ぶ中ではいつ役に立つのかすぐには解らないことも多くあるかも知れません。また、学問以外にも皆さんは一見無駄なことや失敗を多く経験することになるでしょう。それは本校を卒業するためには無駄なことかも知れませんが、皆さんの長い人生の中ではとても大事な経験となるかも知れません。大事なことはこれからの5年間だけでなく、その後に過ごすであろう50年、60年の人生の中で後に振り返ったときに後悔も含め、豊かな高専生活を過ごせるよう、大いに楽しむことです。是非思い出の多い高専生活を楽しんでください。



入学おめでとう

1年3組担任 新井 好司

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんは、これから10代後半の人生の中で貴重な5年間を長岡高専の学生として過ごすことになります。これからの5年間が皆さんにとって有意義な5年間となることを望みます。ただ、学生生活が有意義な5年間となるかどうかは皆さん次第です。ただ、待っていれば有意義な5年間を周りの人達が用意して持ってきてくれるものではありません。そのためには、多くの事に興味・関心を持ち、さらに、受け身ではなく、自分で考え、積極的に動くことが非常に重要となってきます。高専には様々な経験を積む多くの機会がありますが、それらも自ら動いて積極的に関わっていかねば全て無駄になってしまいます。是非、自分で考え、積極的に行動する習慣を高専で身に付けてください。その事は高専に在る間だけでなく、今後の人生においても重要な事です。

また、入学当初は、これまでの中学校生活との大きな違いに戸惑い、不安を持つ事も多いでしょう。入学式でクラスの中に顔馴染みの人がいないことに不安を感じ、慣れない寮生活で苦勞をし、また、中学との勉強の違いに戸惑ったりするかもしれません。しかし、それは誰もが同じで先輩達も同じであったはずで、すぐに時間が経てばなれるはずですので、あまり心配しすぎずに、前向きにこれから高専での学生生活を楽しんでください。



さあ、扉を開けよう！

1年4組担任 堀口真利子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。長岡高専の扉を今、大きな期待を胸に開いたことと思います。皆さんの中には、はっきりした目標を持って入学してきた人、正直、まだ具体的な目標が定まっていない人もいます。高専生活5年間をどう過ごすかという期待だけではなく、多くの不安を抱えて入学している学生も多いのではないのでしょうか。しかし、心配することはありません。

この新たに開け放たれた扉は、多くの意味で学びの扉です。5年間のうちに、多くの人と出逢い、多くの発見に驚き感動し、そして知らなかった新たな自分を見つけることになるでしょう。長岡高専では、教職員をはじめ、先輩たちが自分自身を探究するのに最適な環境づくりを日々考え、皆さんをサポートしてくれます。伝統を大切に引き継ぎつつ、新たな試みを取り入れ、よりよい学校づくりのために探究し、変化し続けているのです。

さて、長岡高専に入学してから卒業するまでに、皆さんはどのように変化するのでしょうか。私には大学時代に恩師から教わった、今でも心に残っている言葉があります。それは、「一つの扉を開けて満足してはいけない、その先にある扉を恐れずに開けてみなければならない」ということです。おそらく、最後となる扉はないはずなのです。目の前に現れるどんな扉をも開ける探究心を大切にしてほしいと願っています。皆さんの成長をととても楽しみにしています。



5年後の自分の姿を描いてみよう

1年5組担任 市村 勝己

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

皆さんはこれから5年間、このキャンパスで生活の大半を過ごすことになるわけですが、まず最初に5年後の自分の姿を描いてみてください。そうすることで皆さんのこれからの日々の学生生活がきっと充実してきます。優秀な成績を修めて卒業し、更なる2年間をここ長岡高専の専攻科で学ぶのか、それとも長岡技術科学大学をはじめとする大学の3年次に編入学するのか、海外留学を目指すのか、県内外の企業に就職するのか、公務員を目指すのか、起業家を目指すのか、将来の選択肢は無限大です。将来の自分像を描く事は、つまり今から5年後、またはその先の自分自身の明確な目標設定を持つ事なのです。目標設定が無ければ、何のために学んでいるのかが見えにくくなり、その結果として16歳から20歳という人生の貴重な5年間の時間を無駄に過ごすことになりかねません。

目標はより具体的であることが大切です。私は思うので

すが、将来の自分像を鮮明に描くことによって潜在意識の中で人は自然とその方向に向かって努力を重ねていくのではないのでしょうか。今から自分がこうなりたいと望む将来の姿をイメージしてみてください。人生は一度だけです。なりたい自分を想像し、将来の自分から現在の自分を振り返ってください。私は今、この高志台で成長した皆さんが堂々と卒業証書を手にして次のステージに向かって巣立っていく姿を見送っている私自身を描いています。

第1学年学科クラス担任

本校では平成25年度まで入学学科ごとにクラス編成をしていましたが、平成26年度入学生から、第1学年に限って、全学科の学生の混合クラス編成を行っています。全学科共通科目の授業は混合学級のクラスで、専門科目の授業は各学科に分かれて行っています。第2学年からは所属学科によるクラス編成になりますが、最初の年に自分の所属学科にこだわらずに築いた交友関係は、あらゆる面で役に立つことが期待されます。

第1学年における混合学級の導入に伴い、1組から5組の学級担任（一般教育科教員）のほかに、学科クラス担任を設けています。学科クラス担任とは、1年生が学科別の編成になって専門科目の学習をする際に、その支援窓口となる教員で、各専門学科の教員が担当します。

平成28年度第1学年の学科クラス担任は次のとおりです。



機械工学科
金子 健正



電気電子システム工学科
樺澤 辰也



電子制御工学科
永井 睦



物質工学科
小出 学



環境都市工学科
田中 一浩



新入生のための施設紹介

やっています!「学生相談室」

学生相談室長 猪平 直人

長岡高専には「学生相談室」という組織があります。全学科に教員の相談員がおり、看護師・カウンセラーも「学生相談室」のスタッフです。

写真の「学生相談室」は、2号館1階保健室の隣にあり、学生の皆さんは、カウンセリング(週2日、予約制)を受けることができます(保護者の皆様もご利用になれます)。スタッフの教員を直接訪ねて悩みを相談することも、電話やメールでの相談も可能です。相談方法がわからない時は、保健室に来てみてください。時々「お茶会」など、学生自由参加の催しも実施しています。詳しい相談方法は、別途発行する「学生相談室だより」と、本校ホームページなどにも掲載されています。勉強、人間関係、心や体の不調など、どんなことでもご相談ください。相談の秘密は厳重に守られ、本人や関係者の同意を得て、問題解決の手助けをすることもできます。

どうぞ皆様、お気軽にお越しください。

「図書館」は多目的に使えます

図書館長 河田 剛毅

図書館は2階建てで、メインの閲覧室は2階です。勉強に必要な専門書、参考書はもちろん、一般・文学書籍、雑誌等多数取り揃えています。英語の絵本コーナーもあり、読みやすさ別に区分されています。もちろん多数のテーブル席があるので、静かな場所で読書・勉強に集中したい場合はここどうぞ。

1階はもう少し自由・気楽に使えるスペースとなっており、数人で話し合いながら学習できる「グループ学習室」、レイアウト変更可能なテーブル席が設置されている「学習コーナー」、新聞・雑誌が置いてある「ブラウジングコーナー」、パソコンが設置されている「情報検索室」があります。さらにもっとお気楽なスペースとして、お菓子・パン類を食べてもOKな「多目的コーナー」があります。ここは早朝でも空調が効くので夏場・冬場に早く学校に着いた時の休憩所としても使えます。

いろんな使い方ができる図書館を大いに活用してください。

総合情報処理センターでできること

佐藤秀一 竹部啓輔

上村健二 渡邊雅博

総合情報処理センターでは、長岡高専のネットワーク全体を管理しています。これによって、皆さんは校内や寮などから様々なネットワークサービスを受けることができます¹⁾。学生全員にメールアドレスが配布され、そのメールの送受信をインターネットを利用して遠隔地から行ったり、携帯電話に転送するように設定することができます²⁾。センター内には大型プリンターがあり、学会発表向けポスター印刷などに使われています。また、6号館5階にあるWebカメラからの風景画像の配信サービスも行っています³⁾。センター端末室は、授業の無い空き時間や放課後に一部開放していますのでご利用ください。どうぞ、当センターを活用し、有意義な高専生活を送ってください。

1) <https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/>

2) <https://webmail.nagaoka-ct.ac.jp/>

3) <http://www.nagaoka-ct.ac.jp/webcam/>

「地球ラボ」でグローバルな視野を身に付けよう

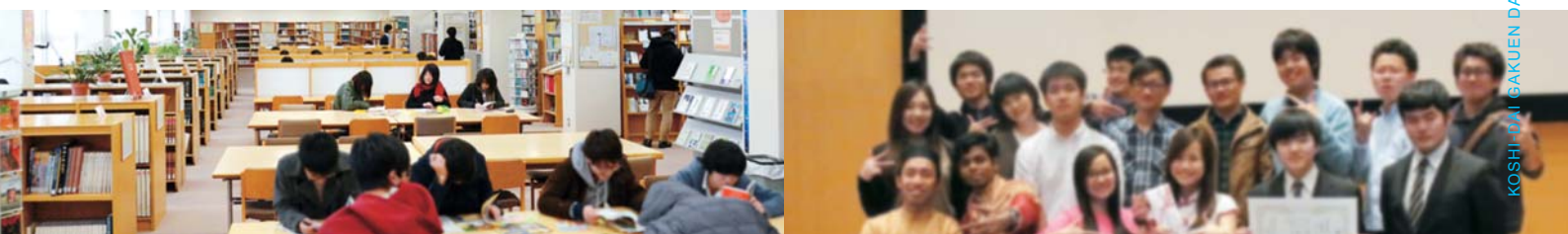
地球ラボ室長 市村 勝己

図書館1階にある地球ラボ室は本校キャンパスの国際化を目指し平成19年度にオープンした留学生と日本人学生の交流の場です。長岡市の国際交流協会や「地球広場」など外部機関と協力しながら様々な情報発信を行っています。

地球ラボの主な活動に「国際関係学演習」があります。これは国際理解や異文化理解を目的とし、1年生から5年生の日本人学生と留学生が一緒になって考え、話し合う場です。選択科目で火曜放課後に隔週で開講しています。留学生と日本人学生が授業内で関わることで視野が広がります。この授業では、ゴールとして毎年12月に朱鷺メッセで開催される「国際理解教育プレゼンテーションコンテスト」に参加しています。平成27年度は優秀賞を受賞しました。

この他、国際交流センター主催の「校内英語エッセイコンテスト」や、英語授業で取り組んでいる「多読」などの語学学習支援も行っています。「多読」の記録用紙「ニコニコリーディング」は地球ラボでも入手できます。

国際交流に興味のある方は気軽にお立ち寄りください。



4月

1日(金)～4日(月)……春季休業
 5日(火)……入学式
 6日(水)……始業式 専攻科履修ガイダンス
 課外活動報告会 午後：学生会行事
 7日(木)……前期授業開始
 7日(木)～8日(金)……学科第1学年合宿研修
 中旬……クリーン作戦



新入生歓迎クラブ紹介

5月

9日(月)……学科第2学年合同保護者会
 10日(火)……学科第3学年合同保護者会
 12日(木)……学生会行事 (予備日：5月19日(木))
 13日(金)……専攻科推薦選抜
 20日(金)……専攻科推薦選抜 合格発表
 23日(月)……インターンシップガイダンス①
 31日(火)～6月3日(金)……学科第1～3学年 前期中間試験



6月

1日(水)……開校記念日
 4日(土)……天野浩氏特別講演会 (長岡市立劇場)
 11日(土)……専攻科学力選抜
 16日(木)……歯科検診日
 17日(金)……専攻科学力選抜 合格発表
 25日(土)……学科第1学年合同保護者会
 24日(金)～7月10日(日)……関東信越地区高専体育大会
 本校開催種目：25日(土)、26日(日) 陸上競技
 7月10日(日) ハンドボール



新入生合宿研修



春のクリーン作戦

7月

16日(土)～17日(日)……全国高専サッカー選手権予選北信越大会
 (本校開催)
 25日(月)～29日(金)……前期末試験
 29日(金)……インターンシップガイダンス②

8月

上旬……校内大清掃
 6日(土)～7日(日)……オープンキャンパス
 8日(月)……6月4日(土)の代休日
 9日(火)～9月25日(日)……夏季休業
 17日(水)～9月4日(日)……全国高専体育大会
 (開催地：東海北陸地区)



遠足



9月

14日(水)～30日(金)……学科第1～4学年保護者会
 23日(金)～24日(土)……関東信越地区高専専攻科合同フレッシュセミナー
 26日(月)……後期始業式
 27日(火)～30日(金)……学科第4学年見学旅行
 28日(水)……後期授業開始 (学科3, 4学年以外)
 学科第3学年工場見学
 29日(木)……後期授業開始 (学科3学年のみ)



関東信越地区高専体育大会



体育祭 綱引き

10月

3日(月)……後期授業開始 (学科4学年のみ)
 6日(木)……防災訓練
 7日(金)……専攻科フォーラム
 18日(火)……学生会行事 (予備日：10月25日(火))
 下旬……クリーン作戦
 28日(金)……午前補講 午後未工祭準備
 29日(土)～30日(日)……未工祭
 31日(月)……未工祭後片付け



体育祭 学科対抗リレー



8年度

16

予定



学園祭 吹奏楽部

11月

29日(火).....学科第4学年編入学試験
(臨時休業日)



学園祭 露店

12月

1日(木)～6日(火).....学科第1～3学年 後期中間試験
5日(月).....学科第4学年編入学合格発表
上旬.....学生総会
14日(水).....学生会行事
中旬.....校内大清掃
25日(日)～1月7日(土).....冬季休業



学園祭 演劇

1月

10日(火).....授業再開
12日(木).....校内一斉試験の日
(学習到達度、TOEIC-IP等)
16日(月).....専攻科特別研究発表会
18日(水)～20日(金).....学科第2学年スキー合宿
24日(火).....学科第1学年推薦選抜・
専攻科社会人特別選抜 (臨時休業日)
31日(火).....学科第1学年推薦選抜・
専攻科社会人特別選抜 合格発表

2月

1日(水)～2日(木).....卒業研究発表会
13日(月)～17日(金).....学年末試験
19日(日).....学科第1学年一般選抜
中旬.....校内大清掃
24日(金).....学科第1学年一般選抜 合格発表

3月

6日(月)～17日(金).....臨時休業日
13日(月)～17日(金).....学科第4学年保護者会
19日(日).....第51回学科卒業式
第16回専攻科修了式
20日(月)～31日(金).....学年末休業



クラスマッチ 大縄跳び



クラスマッチ バasketボール



寮行事

4月1日(金)～3日(日).....指導寮生・寮友会合宿研修
4日(月).....開寮
5日(火).....新入寮生懇談会、歓迎夕食会
5月12日(木).....寮防災避難訓練
6月17日(金)～19日(日).....寮祭
8月10日(水).....閉寮
9月15日(木)～16日(金).....寮生保護者会
25日(日).....開寮
12月23日(金).....閉寮
1月9日(月).....開寮
14日(土)～15日(日).....冬寮祭
3月4日(土).....閉寮



卒業式・修了式

学生会長・寮長から新入生へのメッセージ



ようこそ長岡高専へ

学生会長 曾根森之介

新入生の皆さん、長岡高専へようこそ！学生会長として皆さんのご入学を心より歓迎します。

高専生活を過ごすうえで心がけてもらいたいことを幾つかお話しさせていただきます。

一つ目、何か自分の集中できること、楽しいと思えることを見つけてください。

高専では与えられた課題や問題を受動的にこなすだけではなく、能動的に様々な事に取り組み、自らの能力を伸ばしていくことが求められます。長岡高専には現在30を超える部活動があります。どの部も独自の目標や雰囲気を持って活発に活動しており、非常にハイレベルな大会に参加している部もあります。

もちろん部活動に限った事ではありません。皆さんが様々な能力を身に付け、活躍する場は沢山あるはずです。

学生会本部も皆さんの積極的な参加をお待ちしています。

比較的自由に使える時間が多い学生の期間、色々な事に挑戦してみてください。

二つ目、高専生としての誇りを持って生活してください。

高専は他の県立高校等に比べて校則が緩く、「自由」と言われる事が多くあります。実際のところ高専では多くのことを学生自身が判断して行動する事が基本となっています。また髪のカラーリングも自由ですし、学年と条件によっては車両での通学なども可能となっています。

しかし、これらの「自由」は各自の責任によって保たれていることを忘れないでもらいたいと思います。ごく最低限の決まりを守ることは決して難しい事では無いはずです。自ら何かを得たいと志を持って高専に入学したことを忘れずに日々の生活を過ごしてください。

皆さんの高専生活が素晴らしいものとなるよう応援しています。



新入生の諸君へ

高志寮寮長 細川 和真

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。新しい環境での生活で期待が多い反面、不安も多いことと思います。私も入学当初は知り合いが一人もおらず、不安ばかりでした。でも、その不安は細かく教えてくださる先輩や先生、同じ状況下に置かれている同学年の友達のおかげで、時間が経つにつれ少しずつなくなっていきました。

高専は他の学校と違い、自由な学校です。でもそれは、好き勝手にやっていいということではありません。しっかり自分の行動に責任をもち、自分のことは自分でやらなければいけません。高専生活を有意義なものにするのもしないのも自分次第です。私から言いたいことは、勇気を出して一歩踏み出し、色々な事に挑戦してもらいたいということです。

そういう面で寮というところはとてもいい場所だと思います。私にとって入寮してから生活は、今まで味わったことのないことばかりで、すべてが新鮮そのものでした。その中でも寮に入って良かったと思うのは、たくさんの人と関わったことです。寮には、留学生、1年生から専攻科2年生まで、出身地も違う幅広い人達があります。これからの生活や行事を楽しむためにも、自分と境遇が違う色々な人と是非関わってほしいと思います。

最後になりますが、高専での5年間は長いようですが、あっという間に過ぎて行きます。ここでの生活は、将来を

左右するみなさんにとってかけがえのないものになるでしょう。高専に来て良かったと思える有意義な5年間にしてください。



新入生のみなさんへ

清花寮寮長 古屋 花純

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。公立の高校とは違った5年間という高専生活や家族から離れた寮生活に、期待や不安など様々な想いを抱えていると思います。私も入学した頃は、高専の授業にはついていけないのか、寮に馴染むことができるのかなど不安で胸がいっぱいでした。このような不安をどのようにして解消していけばいいのか、みなさんととても悩むと思います。もし、悩んだ時は自分の周りを見てみてください。みなさんと同じように高専生活に対する不安を抱えているクラスメイトや、その不安を乗り越えてきた先輩たちがいます。ぜひ、自分から積極的に声をかけにってください。そしてたくさん人とのつながりを作ってください。様々な人とつながりを作り、喜びや楽しさを共有することでより充実した日々を送ることができるでしょう。

みなさんはクラス、学科、部活動や学生会、寮生など、様々なつながりを作ることができます。ぜひみなさん、この高専生活の中でたくさんのつながりを作ってください。みなさんが楽しい高専生活を送れることを心から応援しています。



学生会役員紹介

学生会長 電子制御工学科4年 曾根 森之介
学生会副会長 機械工学科4年 池田 遥一
学生会副会長 電子制御工学科4年 中島 英

総務部	部長	機械3年	馬場 拓飛
	副部長	環境3年	野沢 貴志
会計部	部長	制御4年	吉田 篤史
	副部長	電電2年	田中 雄大
外交部	部長	電電4年	細川 和真
	副部長	環境2年	大井 美穂
部活動推進支援部	部長	物質2年	長崎 美香
	副部長	物質2年	佐野 月

広報部	部長	物質3年	佐藤 悦人
	副部長	電電4年	権平 大地
体育委員会	委員長	物質3年	高野 陸
	副委員長	制御3年	高橋 涼
文化委員会	委員長	制御3年	中居 拓人
	副委員長	物質2年	和田 侑子
整備厚生委員会	委員長	電電3年	石川 創太
	副委員長	環境3年	金子祥太郎
図書委員会	委員長	物質3年	馬場 崇式
	副委員長	制御3年	奈良 貴明
学園祭実行委員会	委員長	環境4年	中村 真由
	副委員長	機械4年	大谷 俊介
文化発表会実行委員会	委員長	物質4年	小池みさき

学生会役員からのメッセージ

副会長 機械工学科4年 池田 遥一

高専生活、みなさんはこの言葉を聞いて何を思いますか？高校生活は制服を着て、勉強、部活に励み、あっという間にセンター試験がやってくる。こんな感じだろうと思います。しかし、高専は毎日私服で登校し、もちろん勉強、部活はありますが、5年間通い、さらにセンター試験を受ける必要がない。夏休み、春休みが異常な長さ。なんて自由だ！でも何もしなければこの自由はあっという間に過ぎてしまいます。どうせ過ごす5年間なら何かひとつでも夢中になれることを見つけて、それを継続してみてください。どんなことでもそれは力になるはずですよ。

副会長 電子制御工学科4年 中島 英

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんが長岡高専で生活する5年間は割とあっという間です。学業や部活動、学校行事等、皆さんが熱中できることを見つけて、有意義な5年間になることを願っています。

総務部長 機械工学科3年 馬場 拓飛

総務部の活動内容は、メーリングリストの更新・学生総会の開催・備品の注文など、表に立つことは少ないです。しかし、どれも学生のサポートをする上で重要な仕事なので、部員と協力して最大限のサポートをしたいと思っています。一年間よろしくお願いします。

会計部長 電子制御工学科4年 吉田 篤史

会計部では、各部活や委員会などからの支出依頼の受付をしたり、年度予算案の作成などを行ったりします。迅速な処理で学生の手助けをできるように取り組みたいと思います。皆さんの参加をお待ちしています。

外交部長 電気電子システム工学科4年 細川 和真

外交部は、他の高専との窓口として活動しています。交流会など行って交流を深めたりしております。高専に入ったことを誇りにして、高専らしい生活、高専らしい勉強、高専らしい部活などにいそしんで日々を楽しんでください。皆さんとの高専生活を楽しみにしております。

部活動推進支援部長 物質工学科2年 長崎 美香

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。部活動推進支援部は、部活動の様々なサポートをしています。今年も、各部の活動が上手くいくように全力で仕事に取り組みます。ぜひ部活動・同好会に積極的に参加して高専での生活を楽しんでください！

広報部長 物質工学科3年 佐藤 悦人

広報部は、学生会HPや学園祭特設HPの作成と運営、学生会新聞の作成、その他体育祭などの行事の宣伝を主な活動としています。ぜひ掲示板などをチェックして積極的に行事に参加してください！広報部一同、頑張っていきたいと思っています。

体育委員長 物質工学科3年 高野 陸

体育委員会では、主にクラスマッチと体育祭の企画、運営を行っています。運動する機会の少ない高専での行事なので安全に気をつけて、さらには日々運動するきっかけになるような楽しめる行事にしていきたいと思っています。なのでみなさんも積極的に参加してください!!

文化委員長 電子制御工学科3年 中居 拓人

文化委員会では、遠足やポエムコンテスト等の楽しいイベントをしています。なかでも遠足は新入生どうしで仲良くなるチャンスなので、皆さん楽しみに参加してみてください。

整備厚生委員長 電気電子システム工学科3年 石川 創太

我々、整備厚生委員会では、構内の美化活動や花いっぱいコンクールに向けた活動を行っています。と同時に花を植えたりしております。その時、ボランティアを募る時もありますので、お花や植物に興味のある方は是非参加してください!!

図書委員長 物質工学科3年 馬場 崇式

図書委員会では、学生により多くの図書館の本を読んでもらうために、図書だよりの作成や新潟に本を買いに行くブックハンティング、学園祭での古本市の開催など様々な図書館関係のイベントの企画運営をしています。興味がある人は是非来てください。

学園祭実行委員長 環境都市工学科4年 中村 真由

この委員会では、大イベントである学園祭の企画・運営を行っています。今年度は未工祭です。長岡高専にしかできない、みなさんの学生生活の記憶に残る学園祭にできるように、みんなでアイディアを出し合い、頑張りましょう！とても楽しい行事ですので、是非積極的に参加してください！

文化発表会実行委員長 物質工学科4年 小池 みさき

文化発表会とは年に一度、関東信越地区の高専の文化部が集まり、ダンスや作品など、お互いの活動内容を発表し合うイベントです。事前準備から開催当日まで、文発でしか体験出来ないことが沢山です！ぜひ多くの学生に参加して欲しいと思います。

体育クラブ

陸上競技部 ①

足が速くなりたい。健康的な生活を送りたい。友達をたくさん作りたい。高専生活を充実させたい。頑張る楽しさを感じたい。そんなあなた、陸上やりましょう。

山岳部

山岳部は日常活動では学校の周りを走って体力をつけ、夏休み等に登山を行っています。頂上に着いたときの達成感とそこから眺める絶景、そして頂上で食べるご飯は最高です。興味がある人はぜひ入部してみてください。

バスケットボール部

バスケット部は週5日で練習しています。練習時間はあまり多くはないですが、少ない練習時間を大切にがんばっています。バスケットをやりたい人、興味がある人はぜひきてください。マネージャーも大歓迎です。

バレーボール部 ②

男子バレー部は、週5日、楽しくをモットーに活動を行っています。今現在、3年連続全国高専大会に出場し、今年も全国大会を目指しています。部員15人、マネージャー5人の総員20名が、バレー経験者はもちろん未経験者も大歓迎します！

女子バレー部も活動しているので、ぜひ見学してみてください！

硬式テニス部

硬式テニス部は、各種大会に向けて一生懸命に練習しています。初心者、経験者どちらも大歓迎です！気になった方はテニスコートに来てみてください。

ソフトテニス部

ソフトテニス部です。活動は平日の週5日間、第2体育館脇のテニスコートでやっています。体験だけでもいいので来てみてください。経験者はもちろん、初心者も大歓迎です。やってみたいけどラケットとか道具ないから行くのに迷ってる人には道具を貸すことができるので、気軽にいつでも来てみてください。男子と女子合同で活動しているのでどなたでも来てください。毎日では来れないけど入ってやってみたいって人も大丈夫です。

卓球部

卓球部です。卓球部は昨年、春、秋ともに団体戦で県大会出場を果たしました。今は春の地区大会に向けて練習に励んでいます。経験者はもちろん初心者の方でも気軽に足を運び、気に入ったなら是非入部してください。

サッカー部

こんにちは、サッカー部です。サッカー部は楽しく真剣に日々活動しています。サッカーの経験者はもちろん、サッカーに興味のある人もぜひ来てください。やる気のある人を待っています！

柔道部

柔道部は毎週月曜日から土曜日まで柔道場で練習を行っています。柔道は自身の身体と精神、礼儀作法を学べるスポーツです。筋トレも練習に組み込んでいます。気軽に練習を見に来てください。

剣道部

活動日は月、水、木曜日、活動場所はトレーニングセンターです。部室は柔道場の奥、部室棟の2階にあります。剣道部の例に漏れず、胴着や防具は余っているので、貸すことも出来ます。初心者も経験者も大歓迎です。

バドミントン部

バドミントン部は部員一人一人がそれぞれの目標に向かって日々練習をしています。男子は高校生の大会で県大会出場、女子は全国高専大会出場を果たしています。新入生の皆さんも是非一度はバドミントン部に来てみてください。

スキー部 ③

こんにちは。スキー部です。勿論名前の通りスキーをします。しかし、スキーが出来ない人も、ボードしか出来ない人も、ソリしかって人も、他に入る予定で兼部になっちゃうって人でも、誰でも入部OKです。この部のRecommend Pointは、格安なのに特典のいい、学校のスキー部でしか入れない保険と自由な活動です。滑りに行くのは勿論、冬しかないの、基本、春夏秋冬は活動は気の向くままですw技術向上のために筋トレしなさいとか言いません。たまに野球します。こんなゆるい部なので入りませう。

ハンドボール部 ④

こんにちは！ハンドボール部です！聞いたことがある人は珍しいと思います。部員が少なく困っています！やってみればその楽しさ伝わります。僕は部長ですが元帰宅部です。ぜひ一度見学しに来てください。待ってます！

水泳部

こんにちは！水泳部です。私たちは夏の全国高専大会出場に向け日々活動しています。一年を通して充実した楽しい部活が送れます！経験者、興味がある人はぜひ水泳部に入りましょう！

硬式野球部

硬式野球部は、2、3年生合わせて12人で、県大会ベスト16を目標に日々活動しています。「野球が好き」「中学校で野球部だった」「人として成長したい」…そんな選手はもちろん、マネージャーの入部を心からお待ちしております！

アーチェリー部

安全に楽しく！
道具は一切必要なし！
一緒にアーチェリーしよう!!

ゴルフ部

ゴルフ部は主に平日に2、3回ほど悠久山ゴルフパークで練習しています。練習場は山の上の開けた場所にある



1



2



3



4

一言メッセージ

ので授業などで溜まったストレスも球と一緒に飛んでいきます！コースへも練習に行き、日頃の練習の成果を確認したりします。学生時代にゴルフを経験できる貴重な部活なので是非来てみてください！

フットサル部

フットサル部は、週2回、第2体育館で活動を行っています。試合を中心に、学年やクラス関係なく、楽しくフットサルをしています。女子マネージャーも是非お待ちしています。みんなで楽しくフットサルをしましょう。新入生歓迎会もあり、すぐに部の輪に打ち解けられます！気になる方は是非見学にきてください。

ダンス部 5

ダンス部では学園祭や文化発表会等でダンスを披露します！未経験者の方！少しでもダンスに興味ある方！ダンス部で楽しく踊りましょう!!自分のやりたい事ができるので、気になった人は、是非是非見学に来ててください!!

文化クラブ

吹奏楽部

吹奏楽部は、校内の演奏会や大学生との合同演奏に向け、日々プール脇の部室で活動しています。興味のある人はぜひ見学に来てください。楽器経験者も未経験者も大歓迎です。

美術部

美術部では点描画や水彩画、針金や粘土を用いた立体作品など様々な分野での作品制作を行っています。男女関係なく楽しく活動しているので、興味のある人は気軽に洗心館2階、美術部室まで来てください。

写真部

写真部は、学校行事や撮影旅行などで撮影活動をしています。コンテストなどにも出展しています。新入生の皆さん、写真という形で学園生活の思い出を作りませんか！

インターアクトクラブ 6

インターアクトクラブでは、国際交流と社会奉仕に基づいた活動をしています。端的な話、留学生と交流&ボランティアですが、非常に楽しく貴重な経験のできる活動がもりだくさんですので、興味がある人は入ってみてください！

電算機部

我々電算機部は、多くのプログラミング言語を使用して、ゲームやアプリ、WebサイトといったPC関連のものを作っています。こういったモノづくりに興味がある方は第2端末室に顔を出してみてください！

文芸部

文芸部では、年3回の部誌作成や、不定期に季節誌の発行をしています。季節誌ではテーマを決め、それに沿った小説を書き、部内で講評会を行っています。また、年間を通して演劇の練習を行っており、文発や学園祭などの場では自分たちで脚本を書き、実際に公演を行っています。小

説を書いてみたい方、演劇をやってみたいという方、どちらもやってみたい方、どなたでも大歓迎！興味のある方は是非見学に来てみてください！

軽音楽部

軽音部が校内で演奏を披露する場合は、部内ライブ、新入生歓迎ライブ、学園祭ライブがあります。先輩の中には、地元や他市のライブハウスでしている方もいます。部室には機材があるので楽器を始めるにはとてもいい機会だと思います。

ロボティクス部 7

ロボティクス部では、NHK高専ロボコンをメインに、ロボカップジュニアやかわさきロボット競技会にも参加しています。ロボット作りは苦難の連続ですが、それを部員みんなで乗り越えるので、学年に関係なく本当に仲がよいです。ロボット作りや高専ロボコンが好きな方におすすめの部活動です。

英語部

皆さん、英語は好きですか？英語部では、外国のボードゲームやカードゲーム、英検対策など、様々な英語の活動を通して英語のスキルアップを目指しています。英語が得意な人はもちろん、苦手な人も大歓迎！一緒に英語を楽しみながら身につけましょう！

化学部

化学部は、文化発表会や学園祭、オープンキャンパスの企画を盛り上げるために実験に取り組んでいます。また、1～3年生は新潟県化学インターハイに参加して、毎年賞をもらっており、昨年は最優秀高等学校、日本化学会関東支部長賞で5連覇を達成しました。

書道部

書道部部長です。おもに書を書いている部活ですね。ゆるゆるやっています。字が上手になりたいと思う人！師範が教えてくれます！きれいな字を書く生徒には先生も単位をあげようと思うこともあるかもしれないですね。

デザイン部

デザイン部では、主に毎年11月に行われる『デザコン』に向けて活動しています。ものづくりが好きな方、興味がある方は是非、3号館4階構造実験室まで遊びに来てみてください！

制御システム同好会

私たちのクラブでは、主に電子回路やプログラミングで動作するロボット、ラジコンカーなど様々なマシンを各個人で自由に製作しています。現在はロボカップ出場に向けて活動中です。土日以外はほぼ毎日活動でき、見学も自由なので、気軽に部室へ足を運んでみてください。

模型同好会

模型同好会では、プラモデルの作製や鉄道模型のレイアウトの作製などを行っています。模型が趣味の方も初心者の方も大歓迎です！興味のある方は是非見学に来てください！



5



6





プレラボ制度を知っていますか？

～ワクワクドキドキ！1年生からはじまる研究活動～

はじめに

皆さん、システムデザイン・イノベーションセンターって知っていますか？略してSDIC！知らない人はホームページ（本校トップページバナー「プレラボ制度」からアクセス）で要チェック！

SDICは昨年誕生したばかりの長岡高専の教育研究センターです。SDICではこれまでにない全く新しい取り組みにチャレンジしており、学科横断型教育プログラムである「エンジニアリングデザイン教育」の設置や、学生自ら地元企業等に訪問し課題を抽出＆企業PRまで行う「JSCOOP」の試み、そして本特集のメインである低学年からの教育研究を強力にサポートする「プレラボ制度」の創設等様々な施策を策定し、長岡高専の教育研究活動の活性化を図ってきました。本特集ではこのうち「プレラボ制度」について皆さんに紹介したいと思います。

プレラボ制度とは？

さて皆さん、実験は好きですか？1年生はワクワクドキドキ？2年生は慣れてきた？3年生は・・・。そんな皆さんに朗報となる制度です。

あるデータによると、一般に高専に入学してくる学生はものづくりや実験が好きな学生が多いそうです（皆さんもそうかな？）。しかし、大学を含め高専においても低学年での研究活動は行っておらず、学生実験も基礎レベルに留

まっています。学生が自ら問題を発見し、主体的に研究に取り組むといった活動機会はこれまでほとんどありませんでした。そこで、部活動と同じように、実験好き・好奇心旺盛な学生が活躍できる場を用意しよう！と昨年の夏にプレラボ制度が設立されました。

本制度では教職員が皆さんと一緒にしたいテーマを学内の掲示板に掲示し、学生の皆さんはそれを見て興味があれば参加するというスタイルです（図1、2）。提案内容は様々で、先程説明した教職員の研究と一緒にするスタッフの募集や公開講座のお手伝いさんの募集、さらには数学を勉強しなおしたい人のための勉強会等、研究活動に限らず様々な提案があります（表1）。

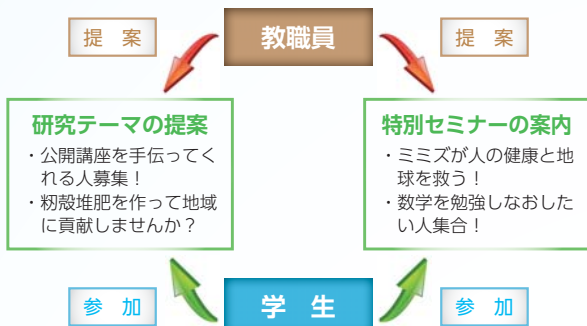
皆さんは主に食堂前に掲示される募集要項を読み、募集要項に該当すれば部活を行いながらでも誰でも気軽に参加できます。

実際の活動は？

実際の活動の様子を見てみましょう！図3は、「ミミズの力で地域貢献」というテーマで活動しているグループの様子です。このグループでは地域の要望より生まれた糞肥の堆肥化やミミズを活用した健康食品の開発等を行っており、教員の他に技術職員も加わり総勢10名の学生と共に様々な活動を行っています。一部の学生は3月の学会（北海道！）で発表も行います。

図4は「長岡のプラナリアの調査と研究」を行っているグループです。実際にプラナリアを川に取りに行き飼育しています。

この他にも「Monoものの作り」と題して、LED点灯電子回路やノギスの作成体験（お土産付き！）や、教員向けの提案もあり、授業を公開し教員のスキルアップを図るという試みも行われています。



掲示板上で募集案内をチェック！

図1. プレラボ制度概要

詳しくは掲示板上で！



図2. 掲示場所の様子

表1. 提案されたテーマ一覧（2016.1.31 現在）

テ ー マ	対 象 者
SDIC セミナー (SDIC 主催)	全教職員 全学生
ミミズの可能性は無限大！ ～ミミズの機能紹介と研究員募集説明会～	全教職員 全学生
長岡のプラナリアの調査と研究	全学科 3年生以下
出前授業「ロボットで遊ぼう！」 アシスタント募集	全教職員 全学生
出前授業「ロボットで遊ぼう！」 アシスタント募集	全教職員 全学生
太陽電池研究センター (PVRC) ソーラーカープロジェクト 太陽電池作製実習 (第1期)	全教職員 全学生
十日町産業フェスタ 2015 子どもものづくり教室 「リモコン光信号を解読せよ」 アシスタント募集	全教職員 全学生
電子工作女子のススめ	全教職員 全学生
「ゼミ形式による授業 (数学)」 授業公開	全教職員
「最初から数学を勉強しなおしたい」人のための勉強会 「みんなの勉強会」	全教職員 全学科3年
mono もの作り ～世界でたった一つのモノを作ろう～	全教職員 全学生
中学校技術の授業体験	全教職員
ミミズの可能性は無限大！ ～ミミズの機能紹介と研究員募集説明会～	全教職員 全学生
「(4年数学) ゼミ形式による授業」の授業公開	全教職員

まずはチャレンジ！

低学年から本気の研究機器を使用して研究できる制度はほとんどありません！高専だから可能なこのシステム！参加しないともったいない！提案自体は月平均約2テーマとまだ決して多くはなく、全員の興味が沸くものが必ずしもあるとは限りませんが、2年生以上になると専門が増え、



図3.「ミミズの力で地域貢献」グループの活動



切断前のプラナリア



切断後の様子



プラナリアの飼育と再生実験の様子

図4.「長岡のプラナリアの調査と研究」グループの活動

他分野に触れる機会はどんどん減っていきます。だからこそ異分野に積極的に飛び込み、様々なセミナーを聞いたり、公開講座のお手伝い等にも参加したりして自分の視野を大きく広げてください。

なんか面白そう！でも出来るかなって思った学生さんもあるかも知れません。まずはチャレンジ！プレラボ制度は皆さんの好奇心を大いに刺激する制度です！

(システムデザイン・イノベーションセンター 赤澤 真一)

平成28年度第1学年入学選抜実施報告

平成28年度第1学年入学選抜は、推薦選抜を本校及び県内2か所（新潟市、上越市）に会場を設け実施し、一般選抜については、推薦選抜の会場に東京会場を加えた4会場で実施しました。また、今回は帰国子女特別選抜も本校会場で実施しました。今年度の志願者は合わせて336名で昨年度と同等となり、競争率は定員200名に対し、1.68倍となりました。

優秀な学生の獲得に向けて、今年度もオープンキャンパス、入試説明会及び学校訪問等、県内の中学生に向けた本校の入試PRに一層力を入れて行きます。来年度入学者の選抜も受検生の便宜に最大限配慮し、県内複数会場における実施を継続して行います。

平成28年度入学選抜では、推薦選抜、一般選抜合わせて225名の合格者のうち、所定の入学手続きを行った206名に入学を許可しました。

■ 全体

学 科 別	機 械	電気電子	電子制御	物 質	環境都市	合 計
志願者数*	64	62	81	67	62	336
合格者数	45	45	45	45	45	225
入学定員	40	40	40	40	40	200
志願倍率**	1.60	1.55	2.03	1.68	1.55	1.68

*志願者数：最終的に合格となった学科を志望学科として整理しています

**志願倍率：定員に対して算出しています

■ 推薦選抜

平成28年1月19日に推薦選抜を実施しました。80名程度を定員としているところに157名が志願しました。推薦書、調査書、面接による選抜を行った結果、88名を合格とし、1月26日に合格発表を行いました。

■ 一般選抜、帰国子女特別選抜

平成28年2月21日に一般選抜（理科、英語、数学、社

会の4教科の学力検査＋作文）を実施しました。また、同日、帰国子女特別選抜（理科、英語、数学の3教科の学力検査＋作文と面接）も実施しました。120名程度を定員としているところに併せて248名が志願しました。

選抜の結果、合計137名を合格とし、2月26日に合格発表を行いました。

平成28年度第1学年

出身中学校所在地地域別入学者一覧

出身中学校所在地		入学者数	入学数学科別内訳				
			機械	電気電子	電子制御	物質	環境都市
県内	長岡市	86	13	16	20	23	14
	新潟市	33	8	7	7	5	6
	上越市	13	6	3	2	2	0
	見附市	12	5	2	1	0	4
	燕市	10	1	3	1	0	5
	小千谷市	9	0	2	2	2	3
	柏崎市	9	2	1	2	2	2
	三条市	7	1	1	1	0	4
	魚沼市	5	1	1	0	3	0
	十日町市	2	0	0	0	2	0
	加茂市	2	0	1	0	1	0
	五泉市	2	1	1	0	0	0
	阿賀野市	2	0	1	1	0	0
	新発田市	2	0	0	1	0	1
	北蒲原郡聖籠町	1	0	0	1	0	0
	妙高市	1	0	0	0	0	1
	南魚沼市	1	0	0	0	1	0
	佐渡市	1	0	1	0	0	0
県外	岩船郡関川村	1	1	0	0	0	0
	三島郡出雲崎町	1	0	0	1	0	0
	刈羽郡刈羽村	1	0	0	0	0	1
	中魚沼郡津南町	1	0	0	1	0	0
	埼玉県	1	0	1	0	0	0
	千葉県	1	1	0	0	0	0
	インド	2	1	1	0	0	0
	入学者計	206	41	42	41	41	41

■各種受賞者（前年度の学年で表記）

- ・第30回関東信越地区高等専門学校英語弁論大会 暗唱の部 優勝
物質工学科2年 齋藤 芽生
- ・第5回新潟県化学インターハイ
最優秀高等学校（日本化学会関東支部長賞） 長岡工業高等専門学校
最優秀チーム（新潟日報社賞） 高専坂46
総合種目（NST賞） 優勝 MB3 準優勝 高専坂46 3位 ウンウン
実験総合種目（長岡徽章賞） 優勝 MB3 3位 aurum
筆記試験種目 優勝 高専坂46 準優勝 ウンウン 3位 MB3
上級実験種目 優勝 ウンウン 準優勝 MB3

（参加チームメンバー）

高専坂46：物質工学科3年 村山 琳
物質工学科3年 小林 奈央
物質工学科1年 佐野 月
M B 3：物質工学科3年 寺尾 玲都
物質工学科3年 枝村 紅依
物質工学科3年 中村 彪雅
ウンウン：物質工学科3年 木菱 隆志
物質工学科3年 長谷川拓実
物質工学科3年 岩村 悠真
aurum：物質工学科3年 目崎 太一
物質工学科2年 岡崎 新
物質工学科2年 石澤 昂昌

- ・第15回日本情報オリンピック予選 敢闘賞
電子制御工学科2年 稲川 拓真
電子制御工学科2年 佐藤 大地
- ・第40回全国少年少女スポーツチャンバラ選手権大会
団体打突3位 橋長剣1級以上3位
環境都市工学科4年 三浦 崇
- ・ロボカップジュニア2016北信越ブロック大会
サッカー部門 優勝 nncbot
準優勝 INPUT 3位 Cat-Pot
プレゼンテーション優秀賞 nncbot

（参加チームメンバー）

nncbot：電子制御工学科3年 樋口 翔太
電子制御工学科3年 山本 雄飛
INPUT：機械工学科3年 高橋 昌己
電気電子システム工学科3年 安原 雅貴
電子制御工学科2年 高野 創
Cat-Pot：電子制御工学科4年 高松 哲哉
電子制御工学科4年 藤澤 郁也

- ・2015年度日本高専学会研究奨励賞 最優秀賞
物質工学専攻1年 江部日南子

■高志台消息

平成28年3月31日付

現職名	氏名	異動内容
物質工学科教授	岩井 裕	定年退職
総務課専門員（施設担当）	片桐 正幸	定年退職
学生課図書係長	久保田昌代	定年退職
機械工学科嘱託教授	山田 隆一	再雇用期間満了退職
物質工学科嘱託教授	栗野 一志	再雇用期間満了退職
環境都市工学科嘱託教授	塩野 計司	再雇用期間満了退職
技術支援職員	白井 岩夫	再雇用期間満了退職
一般教育科教授	米崎 啓和	辞職
環境都市工学科教授	岩波 基	辞職（第一工業大学へ）

平成28年4月1日付

新職名	氏名	異動内容
一般教育科教授（英語）	福田 昇	採用
一般教育科助教（数学）	中山雅友美	採用
環境都市工学科助教	小島由記子	採用
電気電子システム工学科准教授	矢野 昌平	出向期間満了復職 長岡技術科学大学より
物質工学科嘱託教授	岩井 裕	再雇用
総務課施設係 事務支援職員	片桐 正幸	再雇用

■「高志台学園ひろば」の開設

平成27年度から、学生・教職員の動向や肉声を、学生・教職員にアクセスを限定した広報Webサイトで公開しています。

名称：高志台学園ひろば

url: <https://www2.st.nagaoka-ct.ac.jp/koho/>

この広報Webサイトは、校内ネットワークからは自由に閲覧することができます。校外ネットワークからは、総合情報処理センターが在学生に対して発行したユーザ名及びパスワードでログインすることで閲覧することができます。平成27年度に掲載した記事は次のとおりです。

- ・高専に入学，編入学して
- ・専攻科に入学して
- ・留学生からこんにちは
- ・第4学年見学旅行
- ・部活動，学生会活動報告
- ・企業実習，学外実習に参加して
- ・卒業後の進路を考える後輩諸君へ
- ・新任教職員紹介

平成28年度も引き続き記事を掲載しますので、どうぞご覧ください。なお、従来、冊子形態で年4回発行していた「高志台学園だより」は、年2回（4月と3月）の発行となりました。

～2014年ノーベル物理学賞受賞 天野浩教授特別講演会～



2014年にノーベル物理学賞を受賞された天野 浩氏（名古屋大学教授）を講師に迎え、本校学生を対象とした特別講演会を開催します。

- 期 日 平成28年6月4日（土） 13時45分～
- 演 題 「世界を照らすLED」
- 会 場 長岡市立劇場大ホール